



2021年12月期 決算説明資料

2022年3月3日

株式会社やまびこ



INDEX

1. 2021年12月期決算概要	3	4. カーボンニュートラルと当社の開発戦略	28
2021年12月期総括	4	中長期の需要見通しと当社の開発戦略	29
2021年12月期経営成績	5	① 排出ガス規制へのイノベーション	30
連結売上高の増減	6	② バッテリー製品のラインナップ	31
連結営業利益の増減	7	小型屋外作業機械（OPE）における当社手持ち・	32
セグメント別経営成績	8	背負い型作業機の開発戦略を表すイメージ	32
セグメント別売上高実績（地域別）	9	③ アライアンスへの取り組み	33
四半期別業績推移	10		
2. 2022年12月期業績予想	11	APPENDIX	34
2022年12月期通期予想	12	会社概要	35
連結売上高の増減予想	13	やまびこの歩み	36
連結営業利益の増減予想	14	業績推移と売上構成	37
設備投資・研究開発費・減価償却費	15	事業セグメント：小型屋外作業機械（OPE）	38
業績推移	16	事業セグメント：農業用管理機械	39
株主還元	17	事業セグメント：一般産業用機械	40
3. 今後の事業環境と経営戦略	18	国内生産体制	41
やまびこの存在意義	19	海外生産体制	42
時代を超えて変わらない当社の強み	20	主な販売経路	43
良く働く作業機へのこだわり	21	海外市場での販売とユーザー	44
2022年12月期 基本方針とセグメント別重点施策	22	日本市場での販売とユーザー	45
セグメント別重点施策：小型屋外作業機械（OPE）	24	主なグループ会社の状況	46
セグメント別重点施策：農業用管理機械	25	海外市場における関連指標等	47
セグメント別重点施策：一般産業用機械	26	国内市場における関連指標等	48
中長期的な企業価値向上への取り組み	27		

1

2021年12月期 決算概要

2021年12月期総括

新型コロナウイルスの感染拡大による在宅時間の増加などを背景とした海外OPEの高い需要が継続。国内は農機が政府による経営継続補助金効果により増収となるも、夏場の天候不順が影響しOPEは減少、産機も販売活動が一部制限されたことで低迷し減収。

市場	セグメント	当社状況 (現地販売)	当社販売状況	
国内	小型屋外作業機械 (OPE)		前年の定額給付金による需要の反動減に加え、夏場に天候不順が続き、刈払機販売が減少	
	農業用管理機械		政府による経営継続補助金の追い風を受けて、防除機等の需要が増加	
	一般産業用機械		新型コロナウイルスの感染拡大に伴い販売機会の制限を受けたことにより溶接機販売が減少	
海外	小型屋外作業機械 (OPE)	北米市場		新型コロナウイルスの感染拡大に伴う在宅時間の増加などにより引き続き高い需要が継続
		中南米市場		政情不安・経済問題は継続も、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い市場が回復
		欧州市場		新型コロナウイルスの感染拡大に伴う在宅時間の増加などにより高い需要が継続
	農業用管理機械	北米市場		穀物価格の上昇を背景に需要環境が改善

※「OPE」=Outdoor Power Equipment

2021年12月期 経営成績

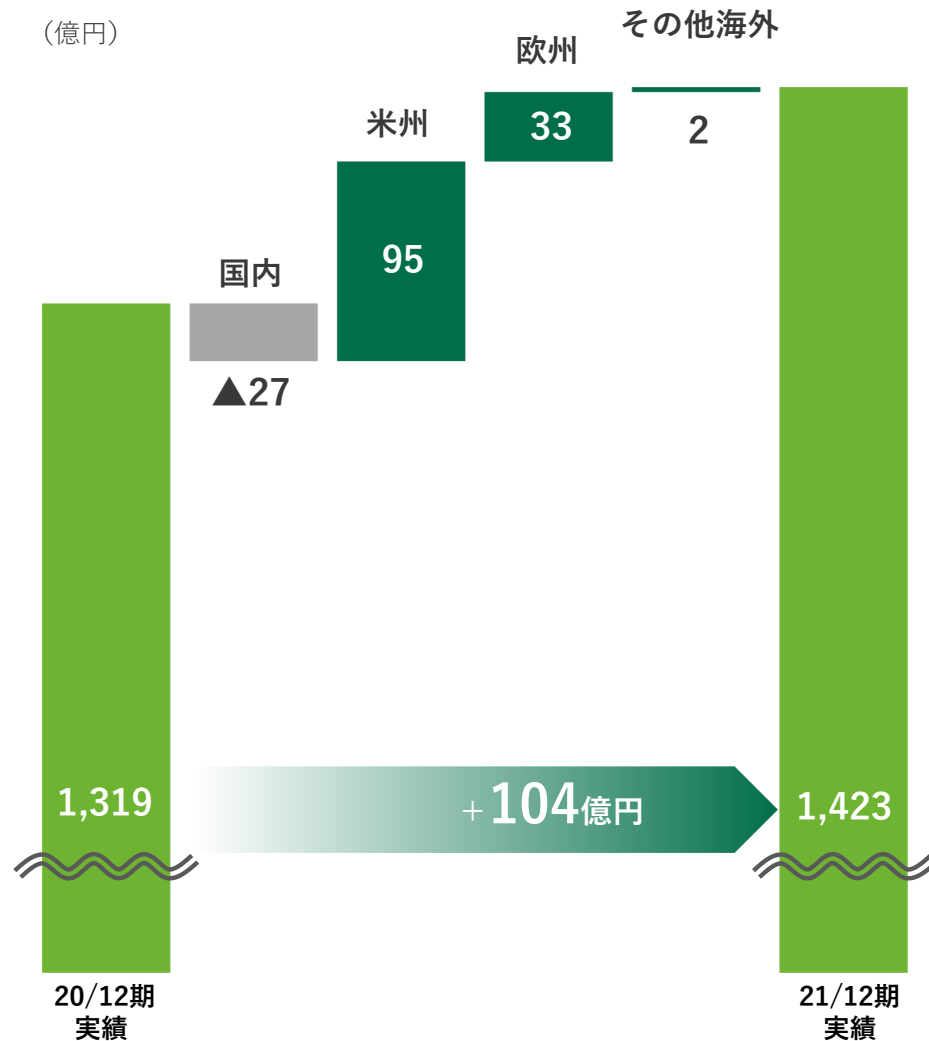
- 売上高は、国内は農機が政府の経営継続補助金により伸長するも、天候不順の影響を受けたOPEに加え、産機が大幅な減少となり減収。海外は米州や欧州を中心にOPEの高い需要が継続したことにより大幅な増収となり、全体としても増収。
- 営業利益は原材料価格や物流費の高騰に対し、期中から一部地域で先行してコスト上昇分の価格への転嫁を進めるも、販売経費の増加等もあり減益。経常利益は為替が円安に推移したことにより増益となり、最終利益も増益。

(百万円)	20/12期 実績	構成比 (%)	21/12期		
			実績	構成比 (%)	前年同期比 (%)
売上高	131,972	100.0	142,328	100.0	+ 7.8
売上原価	94,331	71.5	102,881	72.3	+ 9.1
販管費	27,997	21.2	30,117	21.2	+ 7.6
営業利益	9,643	7.3	9,330	6.6	▲ 3.2
経常利益	9,402	7.1	9,913	7.0	+ 5.4
親会社株主に帰属する 四半期純利益	6,635	5.0	7,500	5.3	+ 13.0

■ 為替レート

1ドル	当社レート	107 円	110 円	+ 2.7
	米国子会社 換算レート	107 円	110 円	+ 2.9
1ユーロ		122 円	130 円	+ 6.5

連結売上高の増減



国内

農機が政府の経営継続補助金効果で防除機が伸長したものの、夏場に天候不順の影響を受けたOPEに加え、新型コロナの感染拡大に伴う販売活動の制限を受けた産機販売が落ち込んだことにより減収。

米州

在宅時間の増加に加え、ライフスタイルの変化も手伝い、OPEの高い需要が継続し、チェーンソーやパワーブロワなどの主要製品が伸長したことに加え、農機と産機の販売も好調に推移したことにより大幅な増収。

欧州

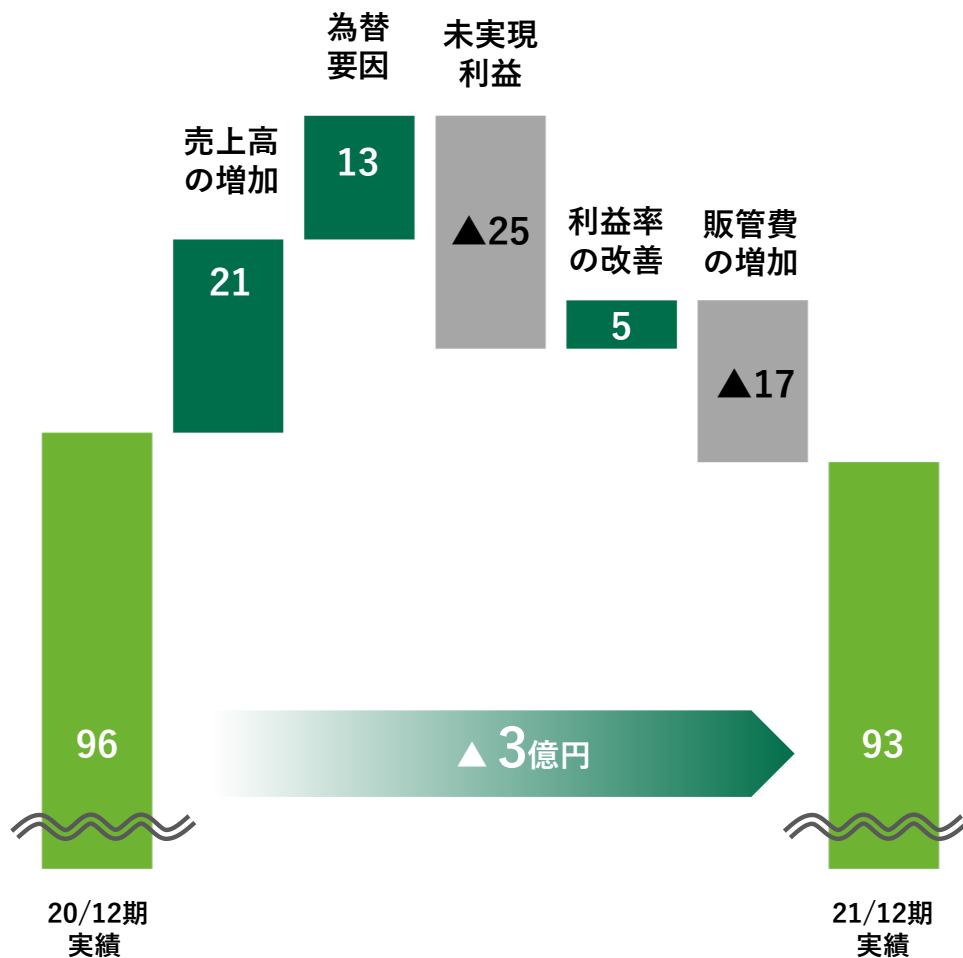
OPEの在宅時間の増加に伴う旺盛な需要が継続し増収。

その他海外

オセアニアでOPEと産機の需要が増加したことより増収。

連結営業利益の増減

(億円)



売上高要因

売上高の増加による利益の増加。

為替要因

主に円安に伴う利益の増加。

未実現利益

積送品を含む在庫の増加。

利益への影響額
 21年12月期4Q 18.9億円のマイナス
 20年12月期4Q 5.9億円のプラス
 ⇒前期対比24.9億円のマイナス影響

利益率

物流費や原材料価格の高騰の影響も、
 OPE生産量増加等に伴い利益率が改善。

販売管理費

売上の増加に伴う営業費用や従業員還元
 の増加など。

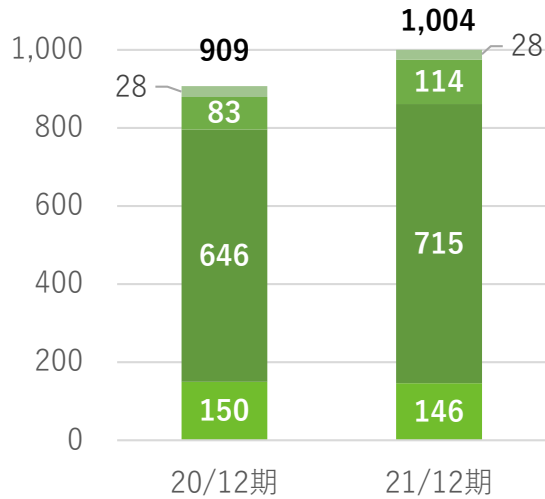
セグメント別経営成績

(百万円)	20/12期 実績		21/12期 実績		前年同期比 (%)
		構成比 (%)		構成比 (%)	
売上高	131,972	100.0	142,328	100.0	+ 7.8
小型屋外作業機械	90,954	68.9	100,485	70.6	+ 10.5
農業用管理機械	21,629	16.4	24,276	17.1	+ 12.2
一般産業用機械	17,108	13.0	15,159	10.7	▲ 11.4
その他	2,280	1.7	2,408	1.7	+ 5.6
営業利益	9,643	-	9,330	-	▲ 3.2
小型屋外作業機械	14,546	150.8	15,001	160.8	+ 3.1
農業用管理機械	86	0.9	296	3.2	+ 243.2
一般産業用機械	860	8.9	449	4.8	▲ 47.8
その他	441	4.6	462	5.0	+ 4.8
全社共通費	▲ 6,290	-	▲ 6,879	-	-

セグメント売上高実績（地域別）

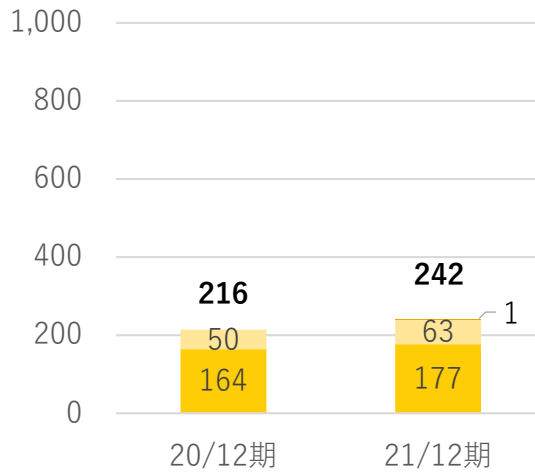
（単位：億円）

小型屋外作業機械（OPE）



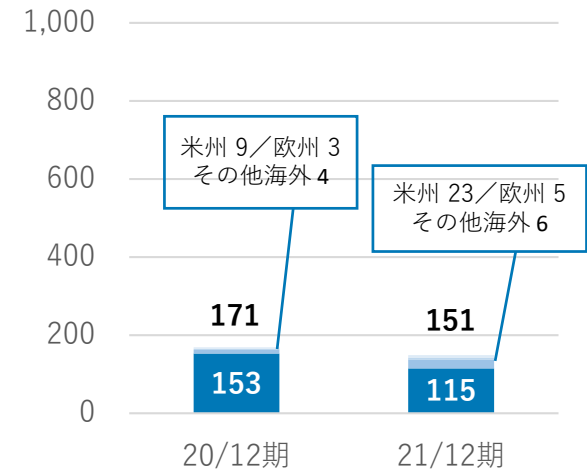
■国内 ■米州 ■欧州 ■その他海外

農業用管理機械



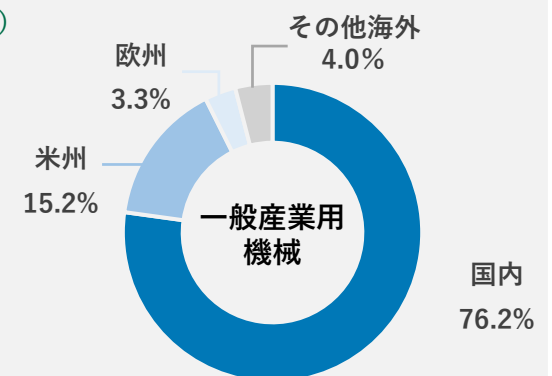
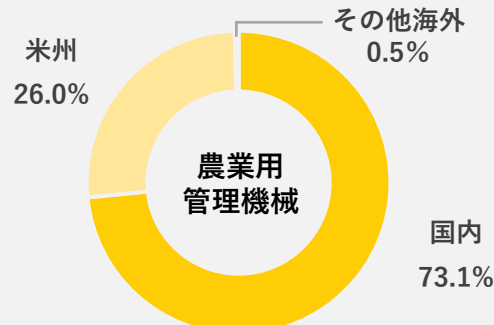
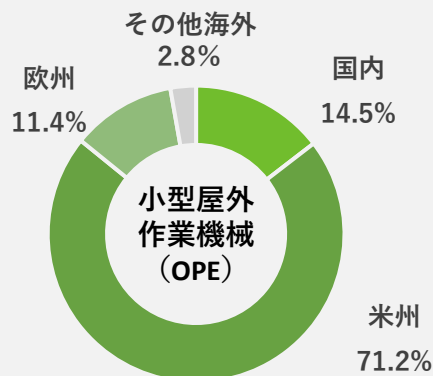
■国内 ■米州 ■その他海外

一般産業用機械

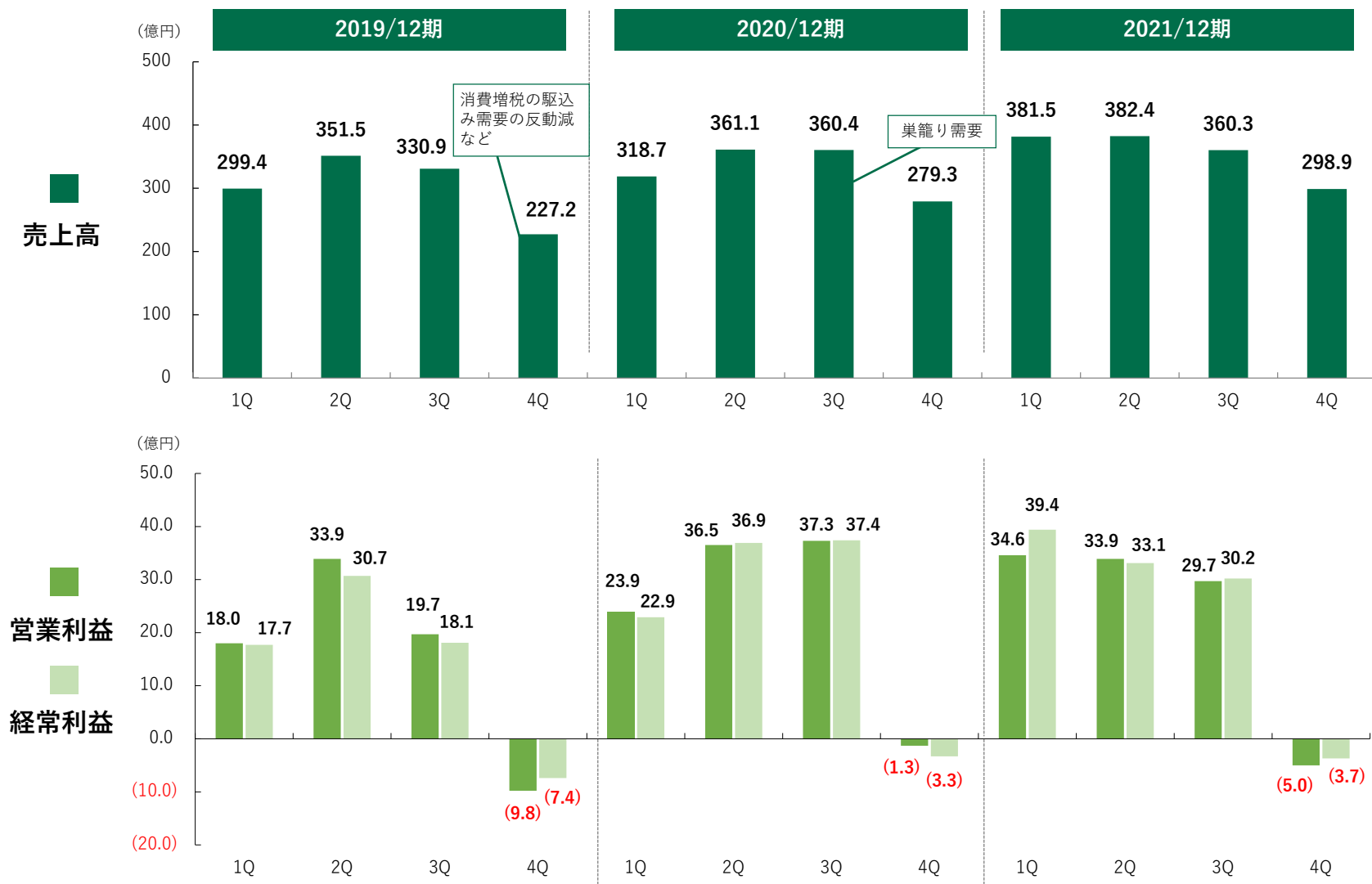


■国内 ■米州 ■欧州 ■その他海外

地域別比率（2021年12月期）



四半期別業績推移



2

2022年12月期 業績予想

2022年12月期 通期予想

- 売上高は、海外はOPEの高い需要が継続することで更なる増収を見込む。国内は農機が昨年の補助金政策の反動により減収を見込む一方、産機は新型コロナの感染症対策と社会経済活動の両立が進むことで、販売活動の制限による落ち込みから回復し増収を見込む。
- 収益面においては、昨年につき原材料価格や物流費の高騰が利益を圧迫するものの、コスト上昇分の販売価格への転嫁や販売数量の増加に伴う生産性の改善により、前年と比べて営業利益、経常利益、最終利益で増益を見込む。

(百万円)	21/12期 実績		22/12期 予想		
		構成比 (%)		構成比 (%)	前年同期比(※) (%)
売上高	142,328	100.0	150,000	100.0	5.4
売上原価	102,881	72.3	105,700	70.5	2.7
販管費	30,117	21.2	32,600	21.7	8.2
営業利益	9,330	6.6	11,700	7.8	25.4
経常利益	9,913	7.0	11,400	7.6	15.0
親会社株主に帰属 する四半期純利益	7,500	5.3	8,500	5.7	13.3

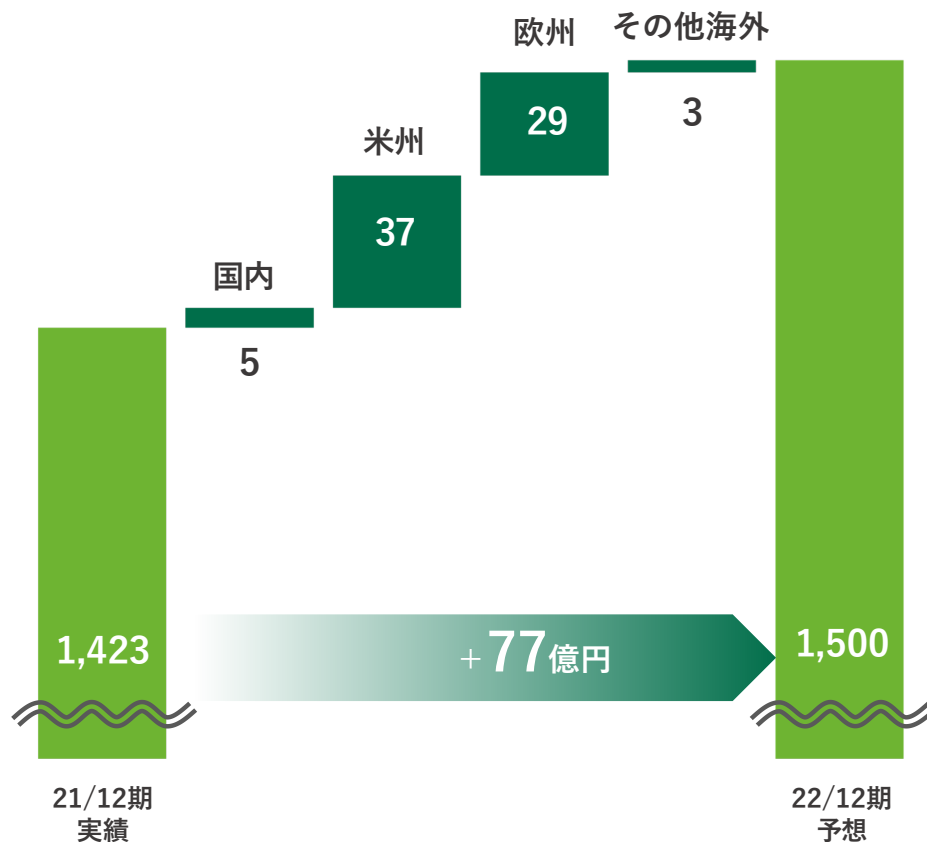
※2022年12月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しておりますが、影響は軽微と見て、前年同期比については単純比較で増減を記載しております。

為替レート

1ドル	当社レート	110 円	110 円	+ 0.3
	米国子会社 換算レート	110 円	110 円	+ 0.1
1ユーロ		130 円	130 円	-

連結売上高の増減予想

(億円)



国内

農機は昨年の政府による経営継続補助金の反動減により減収も、産機が回復し増収を見込む。

米州

物流や原材料調達などサプライチェーンの混乱が懸念されるものの、OPEの高い需要が継続することにより増収を見込む。

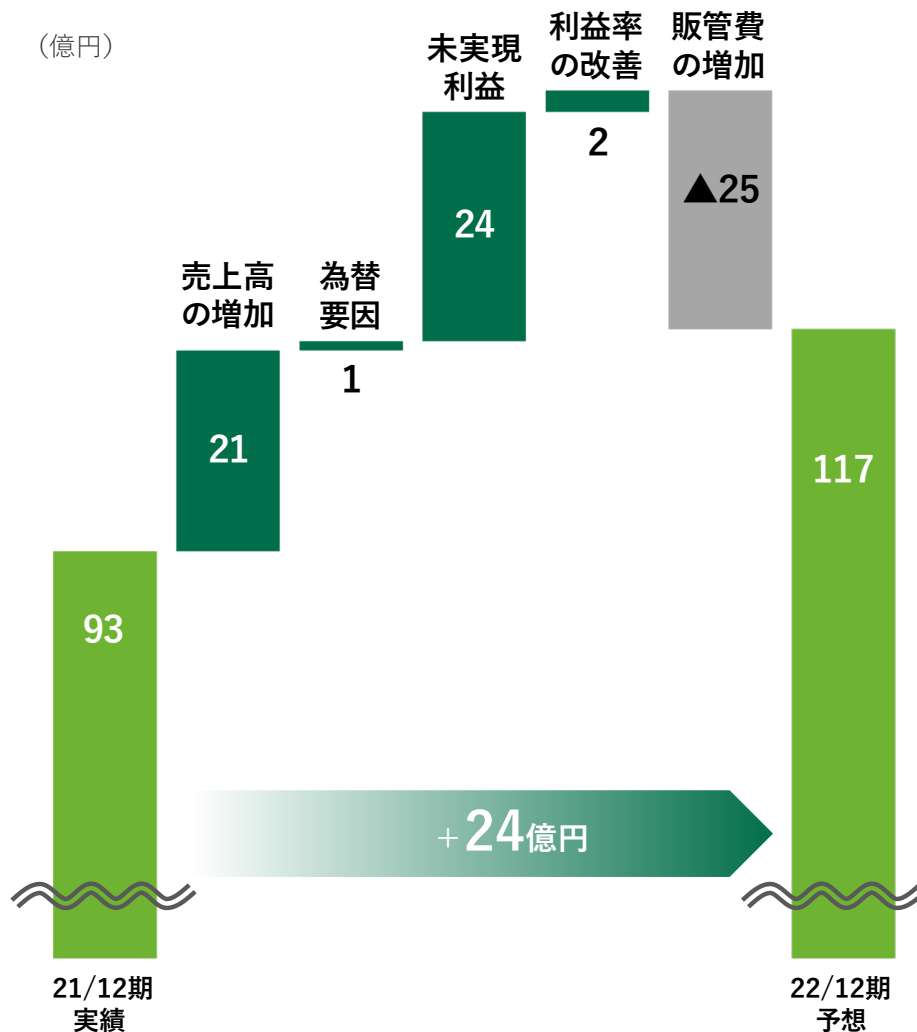
欧州

物流や原材料調達などサプライチェーンの混乱が懸念されるものの、OPEの高い需要が継続することにより増収を見込む。

その他海外

主にアジアのOPEが増加することにより増収を見込む。

連結営業利益の増減予想



売上高要因

北米および欧州でOPEの販売が増加することに伴う利益の増加。

為替要因

想定レートは前年と同水準を見込む。

未実現利益

積送品を含む在庫が若干の減少に向かう。

利益への影響額

22年12月期 5.6億円のプラス
 21年12月期 18.9億円のマイナス
 ⇒前期対比 24.5億円のプラス影響

利益率

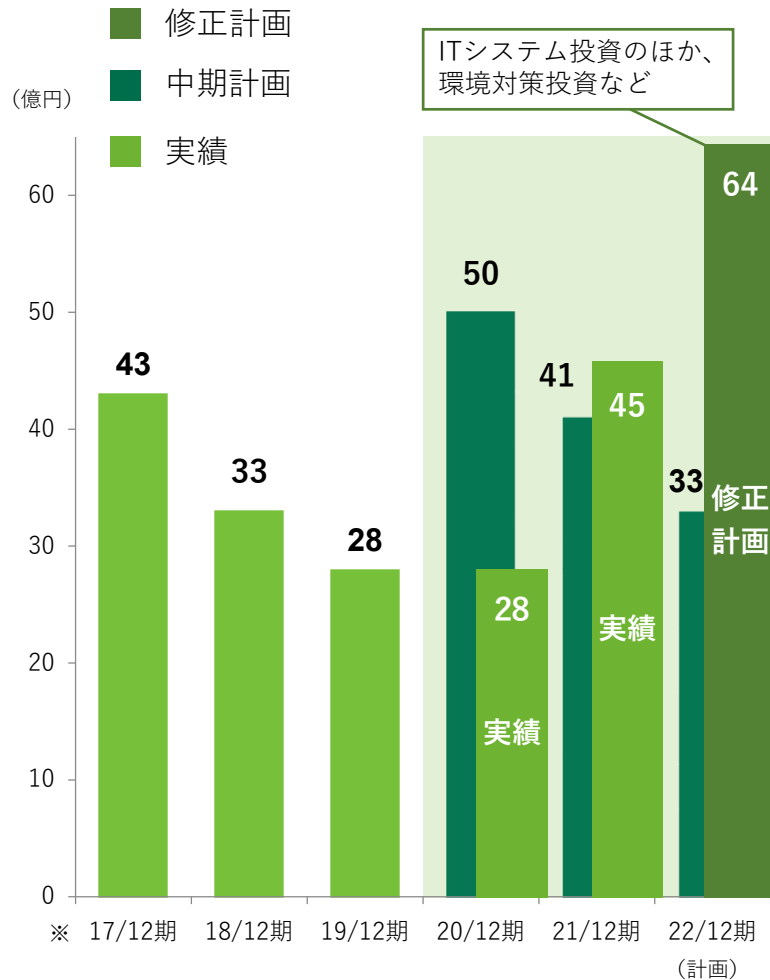
物流費や原材料価格の高騰によるコスト上昇分を販売価格への転嫁で補う。

販売管理費

北米市場におけるDC製品マーケティング費用に加え、国内外で営業活動が再開することに伴う費用の増加。

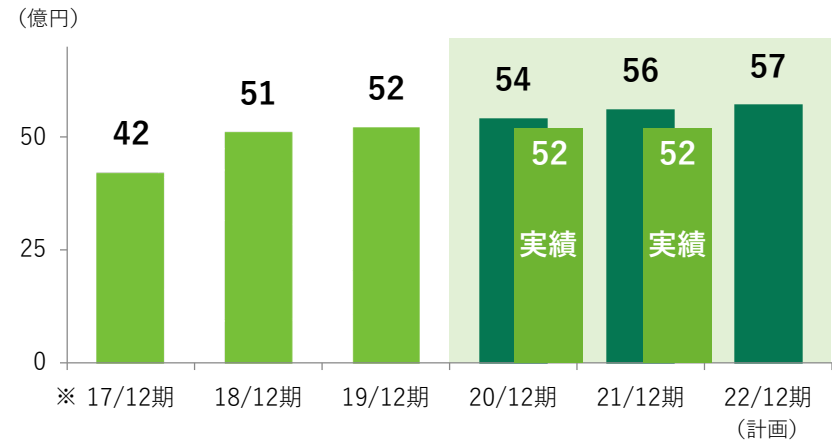
設備投資・研究開発費・減価償却費

設備投資

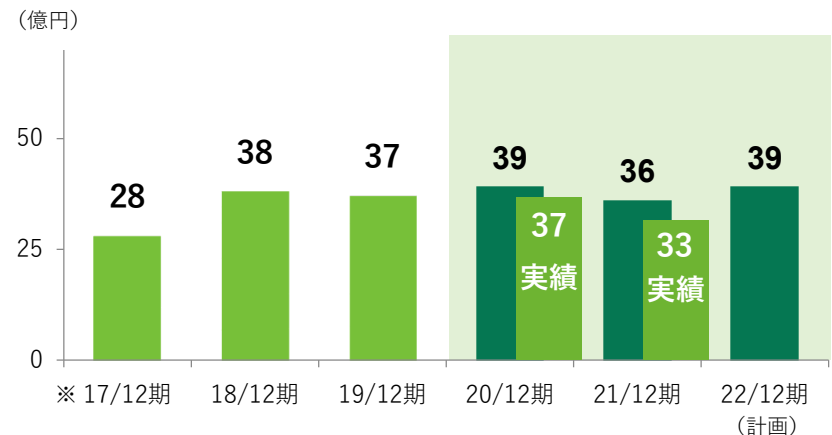


※17/12期は決算期変更のため、9ヶ月決算となります。

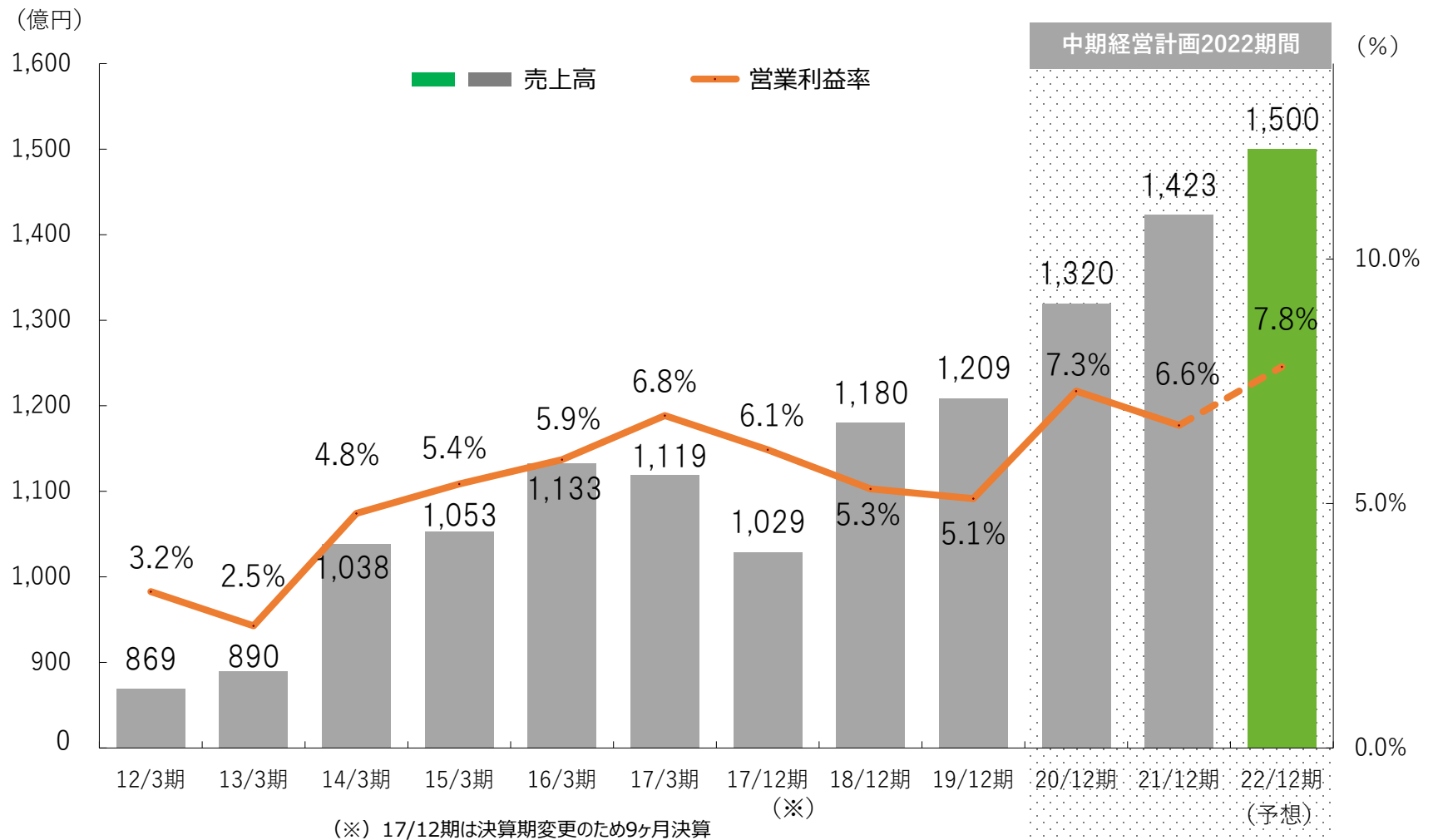
研究開発費



減価償却費

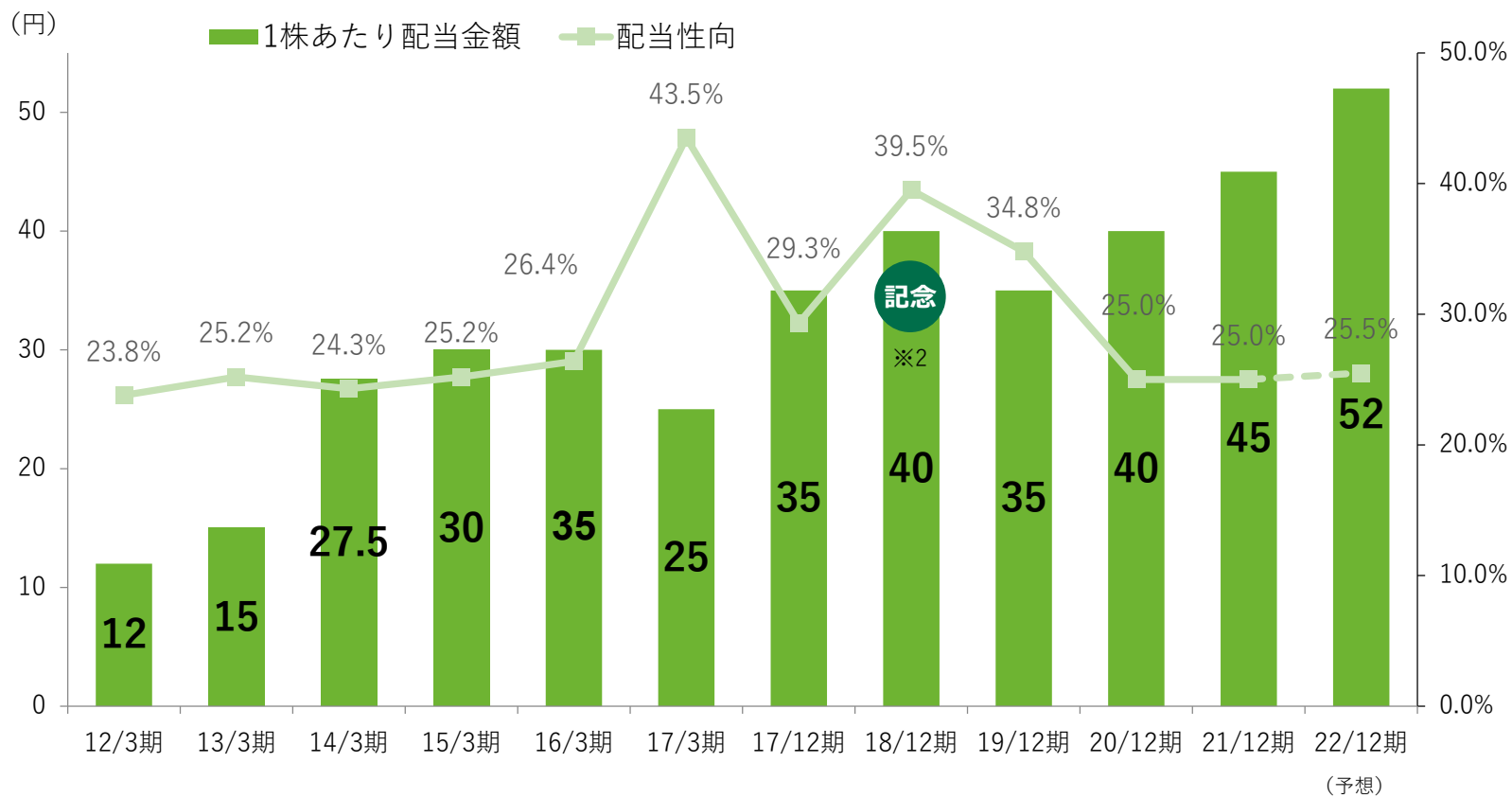


業績推移



株主還元

- 安定配当の継続
- 連結配当性向25%以上



※1. 2015年10月1日付で株式分割を行っております。各期を比較しやすいように、株式分割考慮後の金額を記載しております。
 ※2. 設立10周年記念配当5円を含みます。

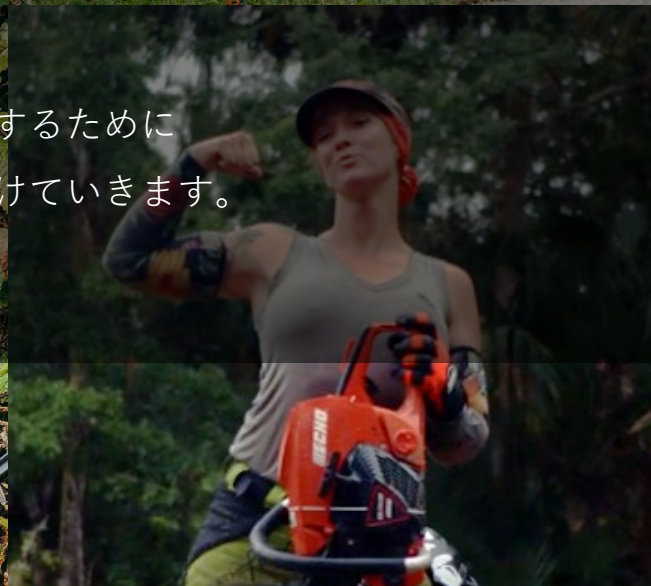
3

今後の事業環境と 経営戦略

やまびこの存在意義



人と自然と
未来をつなぐ



豊かな環境と暮らし、笑顔あふれる未来に貢献するために
私たちは、安全・安心で良く働く作業機を提供し続けていきます。

時代を超えて変わらない当社の強み

研究・開発力

欧米の厳しい排ガス規制に対応してきた研究・開発力。米国EPA（環境保護庁）のエンジン認証数は 世界トップクラス

良く働く
作業機の提供

OPEから農機、産機までさまざまな現場でユーザーが最大限のパフォーマンスが発揮できる制御技術、操作性を徹底して追求

一貫生産体制

2ストローク・エンジンにおいて開発から材料調達、部品製造、加工、組立までの一貫生産体制を有する

Network

世界90カ国以上の販売ネットワークと顧客基盤

私たちは、人々の暮らしを支える生活インフラ作りに
必要不可欠な企業で在り続けたい

良く働く作業機へのこだわり

小型屋外作業機械 (OPE)



DCS-2500T チェンソー

プロの仕事を支える製品開発

- 長年に渡るプロユーザー向けの製品開発で培った作業操作性をバッテリー製品でも実現。動力源に関わらず最もユーザーの作業効率が高くなるように設計
- 軽量でコンパクトながらも高性能・高出力を実現したプロユーザーを満足させる製品パフォーマンスは高い開発力を有する当社だからこそ実現を可能に。また、独自の制御技術によりモーターを最適化することで、長時間の駆動と作業者の負担を軽減し、高い作業効率を実現

農業用管理機械

BSQ6002-ME 牽引式スプレーヤー ブームの長さ調整を自動化



- 圃場形状などに応じて自動調整することのできるスライドセクションコントロール機能を開発
- トラクタに牽引される防除機で従来必要だった、使用者が圃場に合わせてブーム（農薬を吐出する棒状のもの）の長さを操作を自動化スマート農業に対応した製品として、日本の農業が抱える課題の解決に貢献

一般産業用機械

HDW310 ハイブリッド溶接機

独自の制御技術でスムーズに作業スタート

- 従来のディーゼル溶接機に「キャパシタ」と呼ばれる「コンデンサ」で構成されるバッテリーを搭載することで、バッテリーの電気による溶接作業を可能に
- キャパシタ充放電とインバータ発電技術を融合させた独自の制御技術により、溶接スタート特性を向上させスムーズな溶接スタートを可能にするだけでなく、低燃費・低騒音な環境負荷の低い溶接機を実現



基本方針

- 売上の拡大と収益性の改善
- カーボンニュートラルに向けた取組みを促進

小型屋外作業機 (OPE)

- 混乱続くサプライチェーンに対する供給体制の充実
- プロ向け「Xシリーズ」製品販売に注力
- DC製品のグローバル展開

農業用管理機械

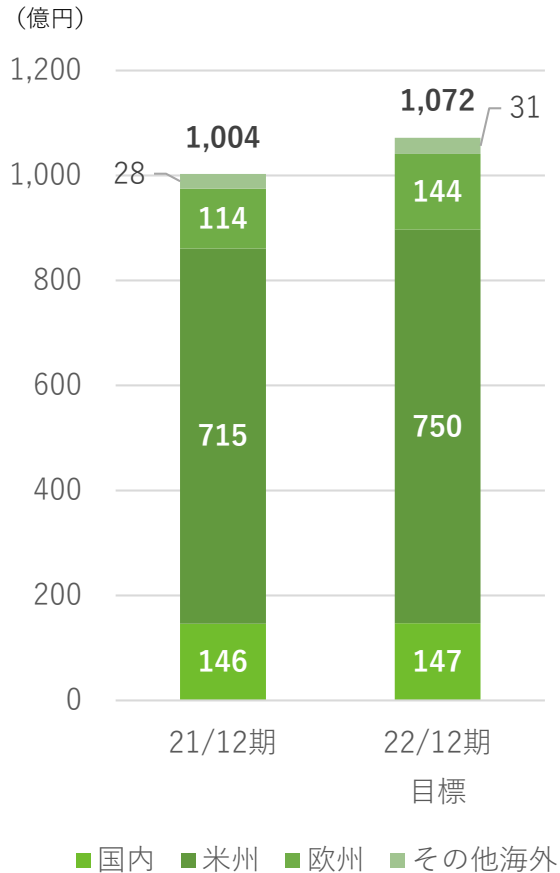
- 安全・安心なものづくり
- ラインナップの見直し
- スマート農業に対応した製品の開発・販売を強化

一般産業用機械

- マルチ発電機、ハイブリッド溶接機の開発
- 遠隔監視システムによるサービス事業の拡大
- 防災、減災、国土強靱化に対応した製品の拡販

セグメント別重点施策：小型屋外作業機械（OPE）

2022年12月期 売上高目標
1,072億円（6.7%増）



北米

市場環境

- 堅調な住宅市況、ライフスタイルの変化を背景にOPEの高い需要が続く
- 物流や原材料調達などサプライチェーンが混乱
- カリフォルニア州の独自の排ガス規制強化

重点施策

- 高い需要が続くプロ向け製品「Xシリーズ」の拡販に注力
- DC製品を本格販売
- 増産を進め、前期に購入した米国倉庫を活用し、物流機能を強化、供給不足リスクに備える
- デジタルマーケティングによる販促



米国子会社エコーインクは50周年を迎える



2021年10月に取得・稼働した米国倉庫

セグメント別重点施策：小型屋外作業機械（OPE）

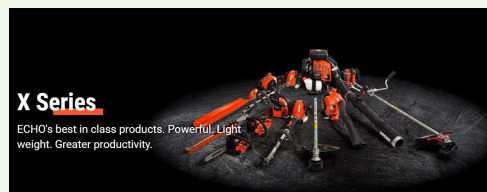
欧州

市場環境

- 欧州OPE市場は拡大が続く
- 高い需要の継続により当社代理店の在庫は低水準
- 一般ユーザー含むDC製品の販売が、北欧を中心にエンジン製品を上回る

重点施策

- 高付加価値なプロ向け「Xシリーズ」の拡販に注力
- 拡大するDC製品需要に対し今期から新たなDC製品ラインナップを展開



プロ向け「Xシリーズ」製品

日本

市場環境

- 新型コロナによる巣籠需要は一服
- ユーザーの高齢化、農業・林業従事者の減少

重点施策

- エンジン主力機種種の拡販
- 高付加価値製品の販売を強化
- DC製品の販売強化



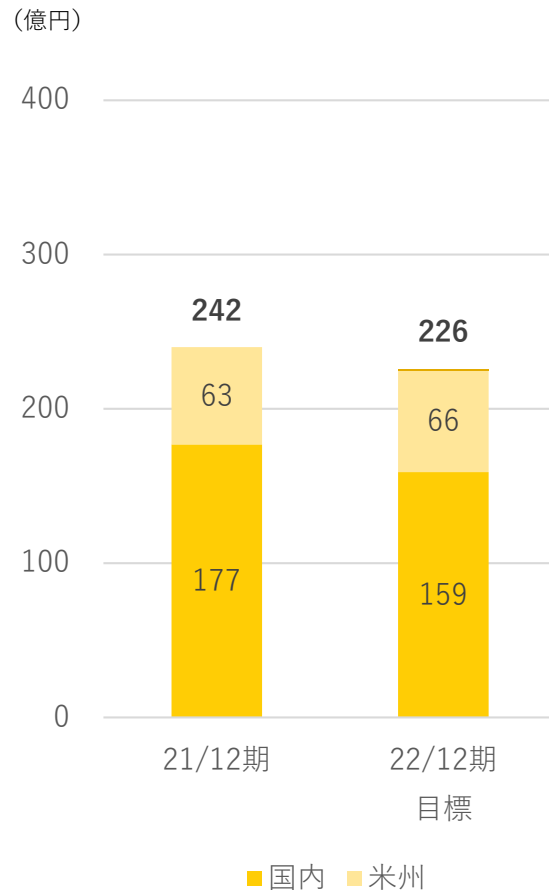
バッテリー刈払機 BSR-56



バッテリーチェーンソー BCSR-510

セグメント別重点施策：農業用管理機械

2022年12月期 売上高目標
226億円（7.1%減）



日本

市場環境

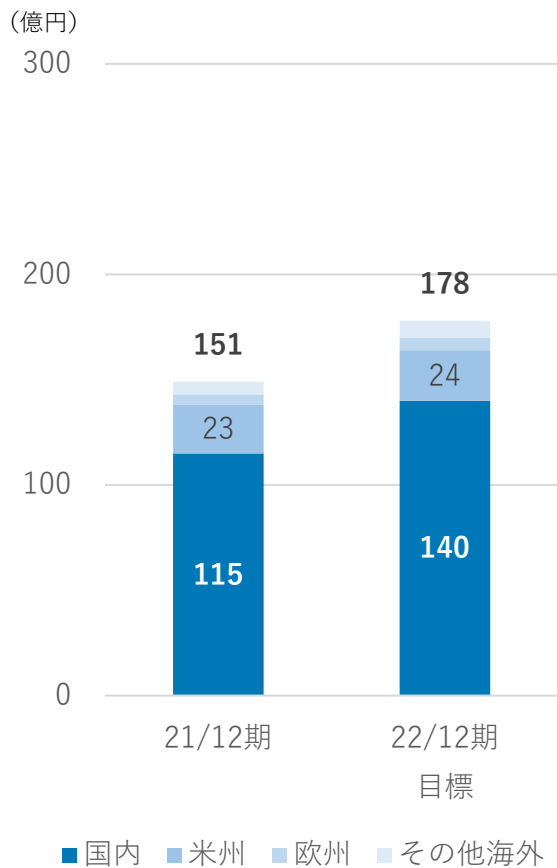
- 農業従事者の減少、高齢化が進み農業の効率化、更なる安全性の確保が求められる
- 農業の法人化が進む

重点施策

- 安全・安心なものづくりの徹底
- 収益性の改善が急務
 - ➔ 開発組織を再編し、農機改革室を設置
 - ➔ ラインナップの見直し
- 新機種の開発に注力
- スマート農業に対応した製品の販売を強化

セグメント別重点施策：一般産業用機械

2022年12月期 売上高目標
178億円（17.6%増）



日本

市場環境

- 新型コロナの影響により、停滞していた販売活動の再開
- 万博需要
- 人流再開に伴うイベントの再開需要
- 度重なる災害の発生

重点施策

- 新製品開発に取り組む
 - マルチ発電機
 - ハイブリッド溶接機
- 遠隔監視システムの販促
- 防災、減災、国土強靱化に対応した製品の拡販

海外

市場環境

- 新型コロナの感染症対策と社会経済活動の両立に伴う回復傾向が続く

重点施策

- 遠隔監視システムやハイブリッド溶接機等、高付加価値な製品の販売拡大に注力
- 遠隔監視システムの販促

中長期的な企業価値向上への取り組み

2022年4月の東証新市場区分では「プライム市場」を選択
より高いガバナンス水準を備え、中長期的な企業価値の向上に努める

取締役会の機能発揮

- ・ 取締役における独立社外取締役の割合を過半数に※
- ・ 知識・経験・能力のバランス、多様性を確保した体制とし、スキルマトリックスを開示

指名報酬委員会の実効的な取り組み

- ・ 委員における独立社外取締役の割合を過半数にし、指名や報酬など特に重要な事項の検討に当たり、ジェンダー等の多様性やスキルの観点を含めた積極的な関与に着手

サステナビリティへの取り組み

- ・ TCFDの枠組みに基づく情報開示の充実
- ・ 温室効果ガス（Greenhouse Gas）排出量の把握及び削減策の立案

※ 3月30日開催予定の第14回定時株主総会后予定

4

カーボンニュートラルと 当社の開発戦略

中長期の需要見通しと当社の開発戦略

需要見通し

エンジン製品の需要は排出ガス規制の動向や技術革新の影響に左右されるも、**プロユーザー向けの需要は根強く残る**

一方で、DC製品化は加速し、**エンジン・DC含めた市場規模は拡大傾向と見ている**

当社の中長期開発戦略

高効率
エンジン

① 排出ガス規制対応、かつ高効率・高出力のエンジン製品開発

電化

② 良く働く作業機としてのバッテリー製品の拡充

再生可能
エネルギー

③ リユースEVバッテリー、再生可能エネルギーを活用した製品開発

eFuel

③ eFuel（合成燃料）研究と実用

バイオマス

・高濃度エタノール対応エンジンの研究開発

水素

・構想中

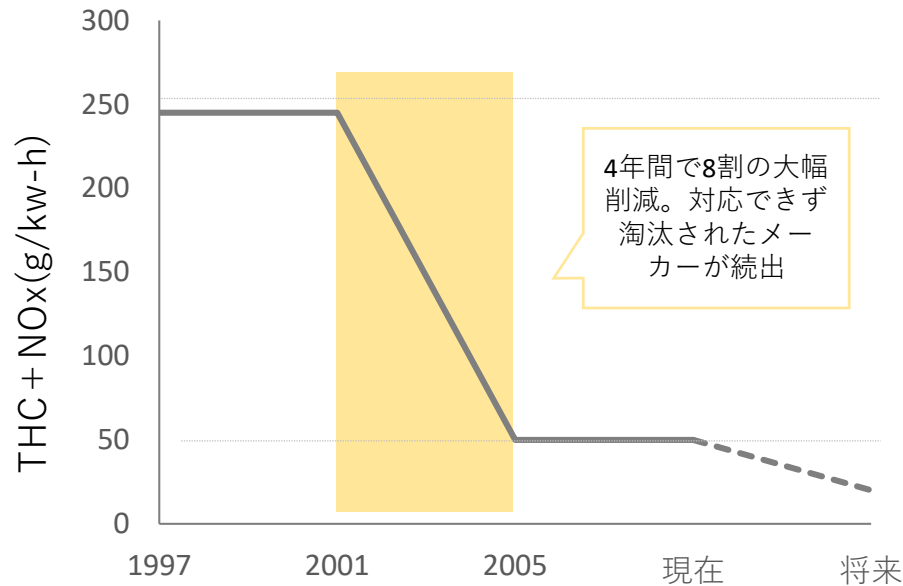
CCUS

・構想中

① 排出ガス規制へのイノベーション

長年にわたり培ってきた「技術力・開発力」は今後のマーケットでも発揮

EPA排出ガス規制の基準値の推移（排気量50ml未満）



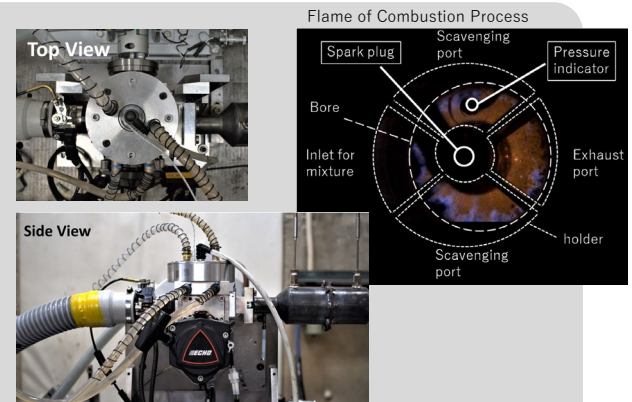
THC=全炭化水素 Nox=窒素酸化物

※EPA=United States Environmental Protection Agency

出典：Electronic Code of Federal Regulationsより当社作成

当社の対応

- 開発から資材調達、鋳造、金属加工、機械加工、組立まで世界的にも稀な小型エンジン製造の**一貫生産体制**と**開発力・技術力**を通じて、厳しい規制に対応し続けている
- EPA認証数は世界でトップクラス



次世代2ストロークエンジン

② バッテリー製品のラインナップ

グローバルDC製品の開発・製造

- 主力市場にある米国子会社ECHO incにバッテリーR&Dセンターを設置
- グローバルプラットフォーム確立



共通バッテリー



- 共通のバッテリーで使用可能な新たなバッテリー製品ラインナップを北米・欧州・日本市場で本年より展開
- 異なる作業ニーズに応えるべく、高出力・中出力の2種類を用意
- 独自の制御技術により、バッテリーの熱、充電、放電を管理することで、効率的な出力が可能

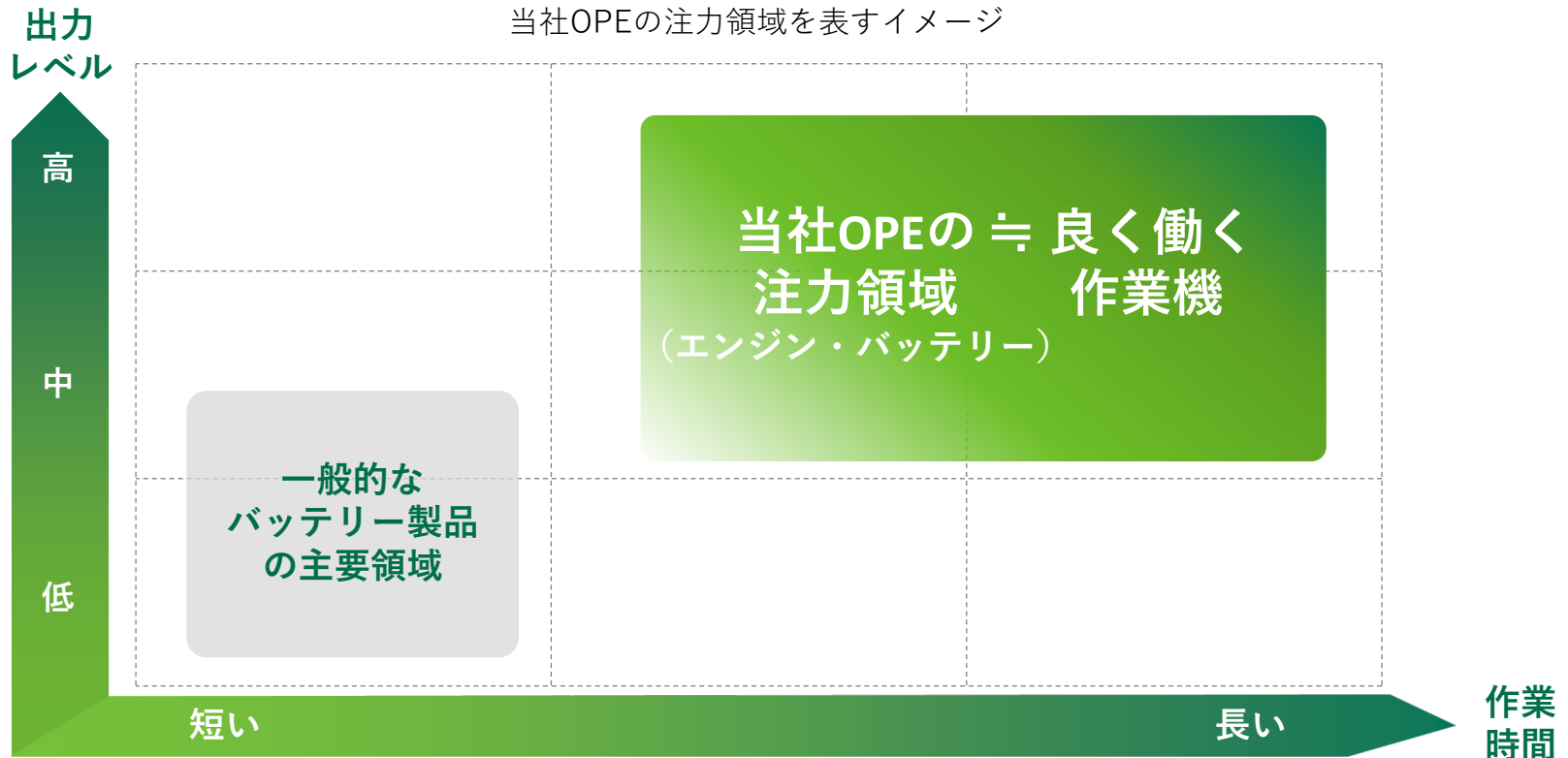
Xシリーズ

- 高性能で耐久性に優れ、プロユーザーも満足できる「Xシリーズ」で二系統のバッテリー製品シリーズを市場別に展開
- 昨年、アメリカケンタッキー州で開催された全米最大規模の庭園管理機械見本市「GIE+EXPO」で発表



小型屋外作業機械（OPE）における 当社手持ち・背負い型作業機の開発戦略を表すイメージ

高い「仕事量」が求められるユーザーや用途が、当社の注力領域。手持ち・背負い型の作業機分野で、排出ガス規制をはじめとするカーボンニュートラルに対応したOPEの開発・販売を推進



出力 × 作業時間 = 仕事量

③ アライアンスへの取り組み

eFuel（合成燃料）研究

eFuel Alliance への加盟



環境対応の合成燃料の普及などを目指すeFuel Allianceに加盟し研究を開始しました

イーセップ(株)と
共同研究開発契約を締結



OPEエンジンに最適化なeFuelの開発を目指しています

低炭素・循環型社会の実現

MIRAI-LABO(株)と
資本業務提携を締結



「ハイブリッド自律型エネルギーシステム」や「屋外作業機の電動化ならびに移動型バッテリー充電システム」の開発・事業化など、「低炭素・循環型社会の実現」に向けた協業体制を強化します



APPENDIX

会社概要

会 社 名	株式会社やまびこ (YAMABIKO CORPORATION)
設 立	2008年12月1日
本 社	東京都青梅市末広町一丁目7番地2
売 上 高	142,328百万円 (2021年12月期連結)
資 本 金	6,000百万円
決 算 期	12月31日
連 結 子 会 社 数	15社※ (国内6社・海外9社／2021年12月末現在)
従 業 員 数	3,462名 (2021年12月末現在／連結)
上 場 市 場	東京証券取引所第一部
証 券 コ ー ド	6250
発 行 済 株 式 総 数	44,108,428株 (2021年12月末現在)
単 元 株 式 数	100株

※持分法適用関連会社2社を除く

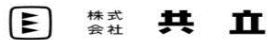
やまびこの歩み



世界初となる手持ちブロワに加え、国内初の背負式刈払機やスピードスプレーヤなどを開発



2000年代の排出ガス規制強化・業界再編を経て、歴史と実績のある2社が2008年に合併。経営基盤強化とシナジー効果の発揮により、持続的成長を目指して設立



1947年 (昭和22年)



株式会社やまびこ

2008年 (平成20年)

新タイワ工業株式会社

1952年 (昭和27年)



電動チェーンソーを経て、世界初となる混合式4サイクルエンジンやマルチ発電出力などを開発

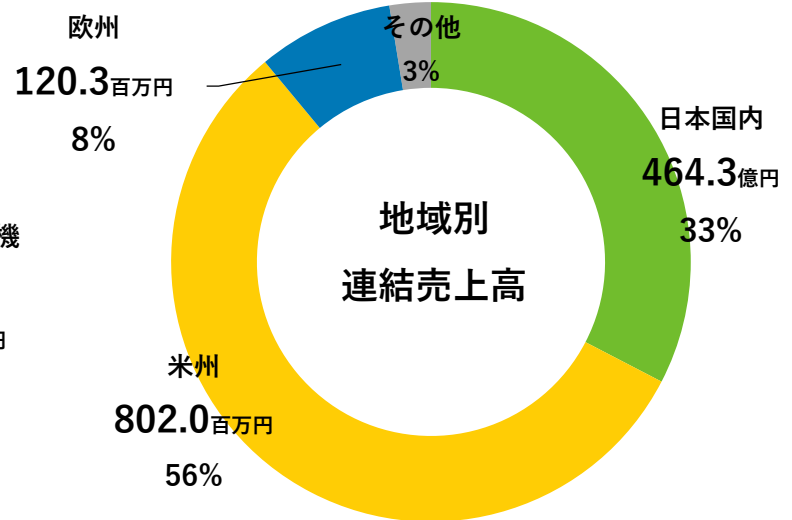
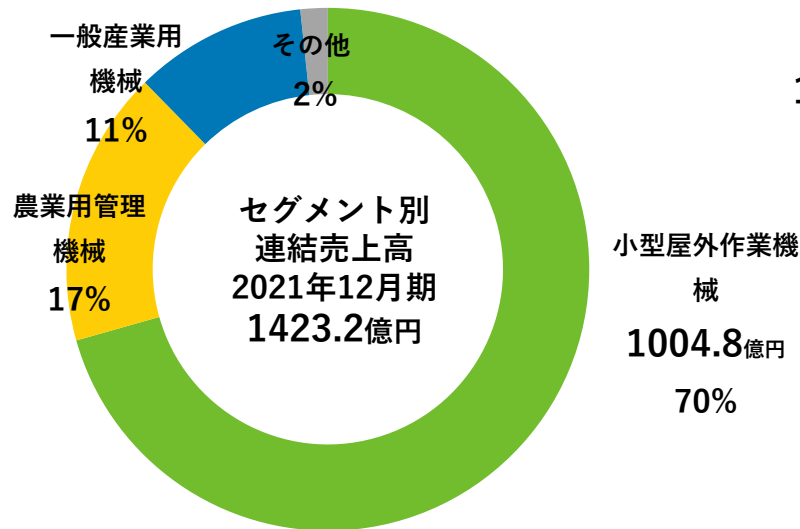
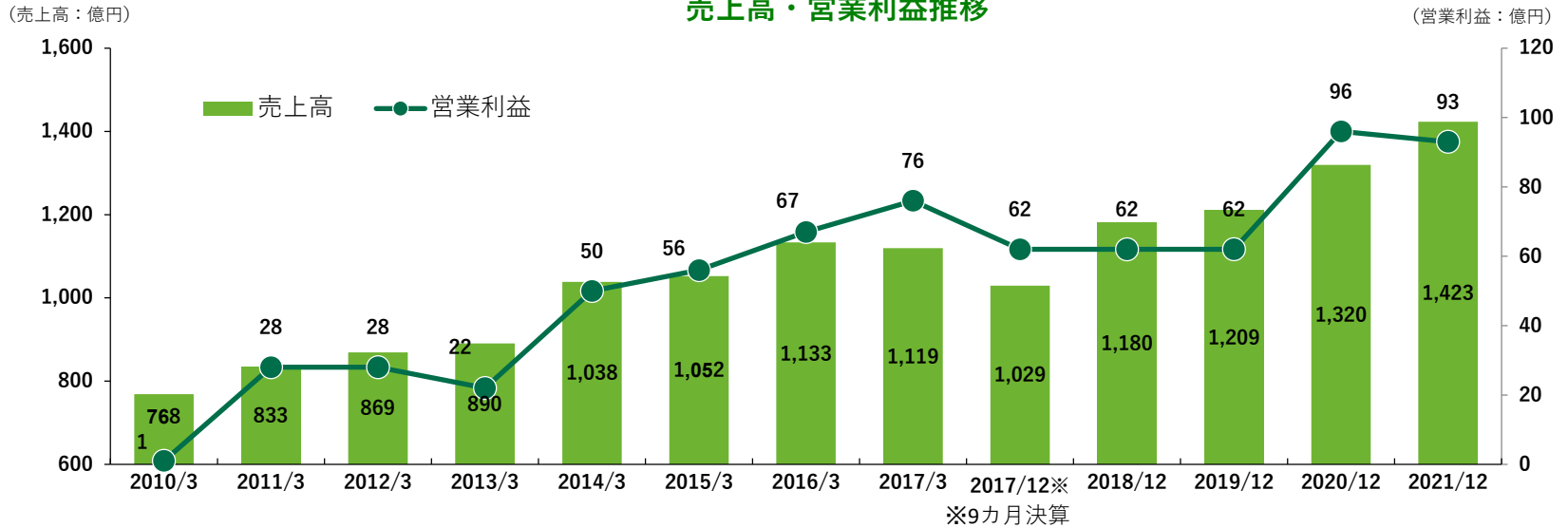


社名の由来

山の神様である「山彦」を社名に掲げ、自然と環境の育成、整備への貢献を理念に持つ会社姿勢の象徴とする

業績推移と売上構成

売上高・営業利益推移



事業セグメント：小型屋外作業機械（OPE）



売上高構成比

70.6%

(2021年12月期)

主に「手で持つ」「背負って」使用する
小型エンジンなどを搭載した
機械およびロボット芝刈機の製造販売



パワーブロウ



チェンソー



ヘッジトリマー



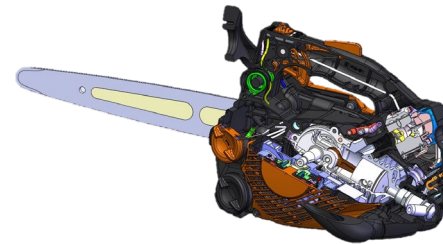
刈払機



ロボット芝刈機

技術的な強み

世界最高レベルのエンジン開発力



高い製品
シェア

日本：30%以上
※当社調べ

高性能・高耐久・高品質エンジン

- 小型・軽量・高出力（手持機械に最適）
- 環境対応エンジン認証数、業界トップクラス

小型エンジンに必要な技術を保有

- 鋳造→熱処理→機械加工→組立
- 鉄めっき・放電加工

※Outdoor Power Equipment

事業セグメント：農業用管理機械



売上高構成比

17.1%

(2021年12月期)

国内における防除機械、
北米における
農作物収穫機械の製造販売



乗用管理機



スピードスプレーヤ



畦草刈機



ポテト収穫機（北米）

技術的な強み

培った防除技術にICTを融合し、 スマート農業を実現

送風技術・噴霧技術・散布技術

- 水田、畑作、果樹、施設栽培などあらゆる栽培体系において均一散布を実現
- 低騒音・大風量を実現する送風システムを開発
- 農薬飛散を低減させるやまびこノズルの自社開発

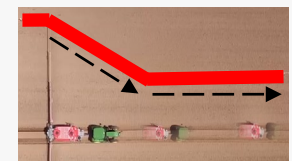


やまびこノズルの
噴霧状態（扇形状）
（平均粒子径
110~270 ミクロン）

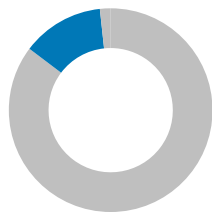


ICT

- 世界標準の通信技術（ISOBUS）を用いて、トラクタと相互通信
- 全球測位衛星システム（GNSS）により圃場内に適正な量の農薬を適正な場所にムダなく散布
- 設定した圃場の形状に合わせて散布エリアを自動制御する世界初の技術



事業セグメント：一般産業用機械

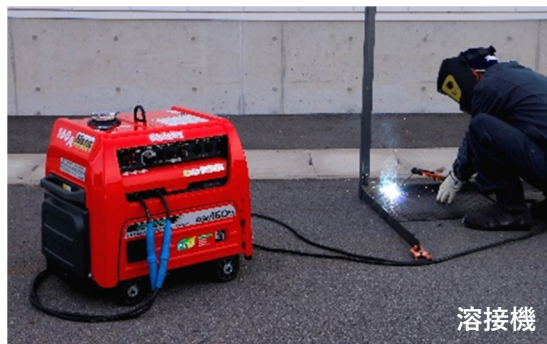


売上高構成比

10.7%

(2021年12月期)

建設工事・国土強靱化・
イベント向け機械の製造販売



溶接機

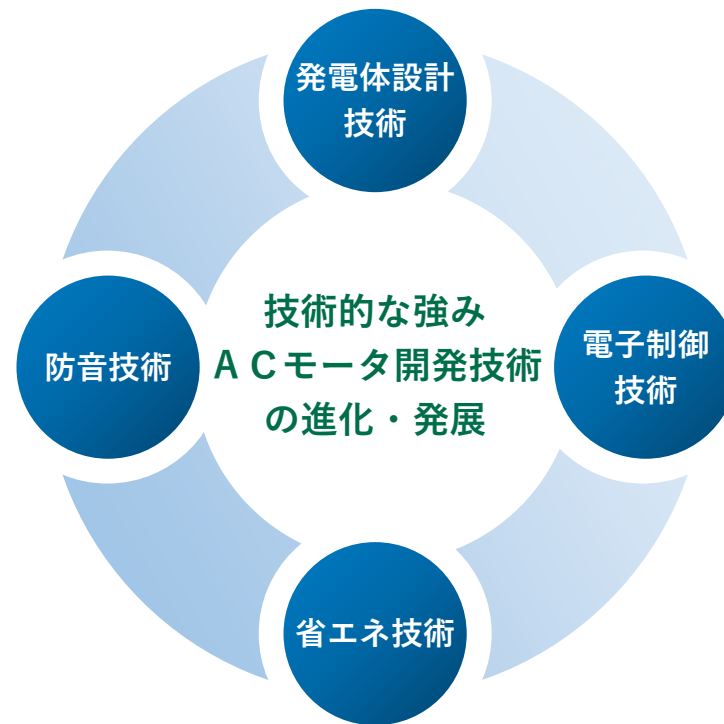


発電機



投光器

技術的な強み



世界初の三相/単相3線
切替なし同時出力可能
(米国特許・国内特許取得済み)



「ダブルECO」
低燃費・騒音排出ガス効果に優れた2つのエコ機能の開発

国内生産体制

- 生産事業所
- 生産子会社

生産本部盛岡事業所

小型屋外作業機械の製造
 (機械加工・塗装・組立等)
 防除機の製造(板金・塗装・組立等)

※ 防除機の搭載エンジンは他メーカーからの調達



本社



生産本部横須賀事業所

小型屋外作業機械の製造
 (鋳造・金属処理・機械加工・組立等)



生産本部 広島事業所

小型屋外作業機械の製造
 (機械加工・組立等)
 発電機・溶接機・電動工具
 の製造(組立等)

※ 発電機等の搭載エンジンは他
 メーカーからの調達

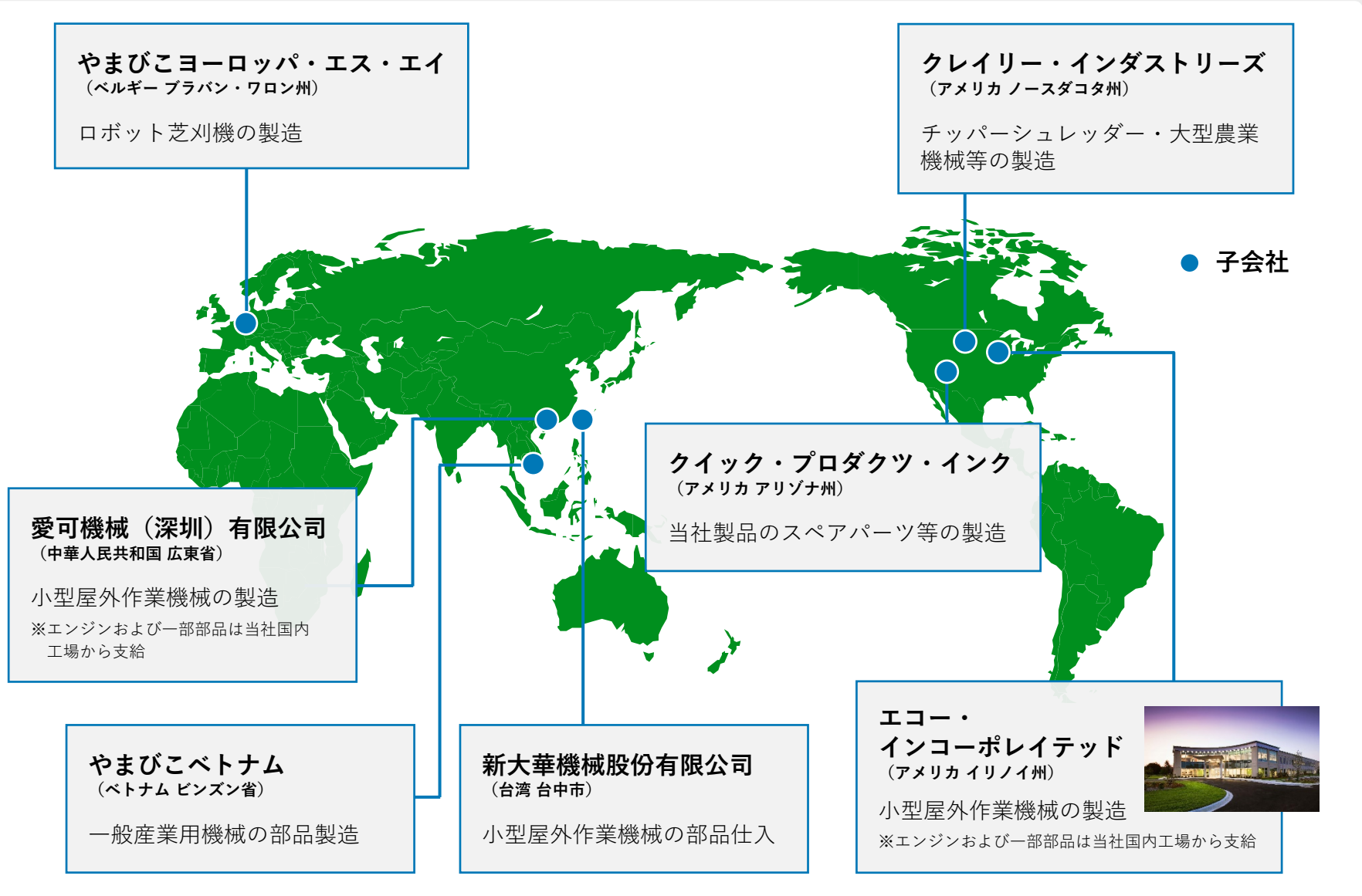


生産関連子会社

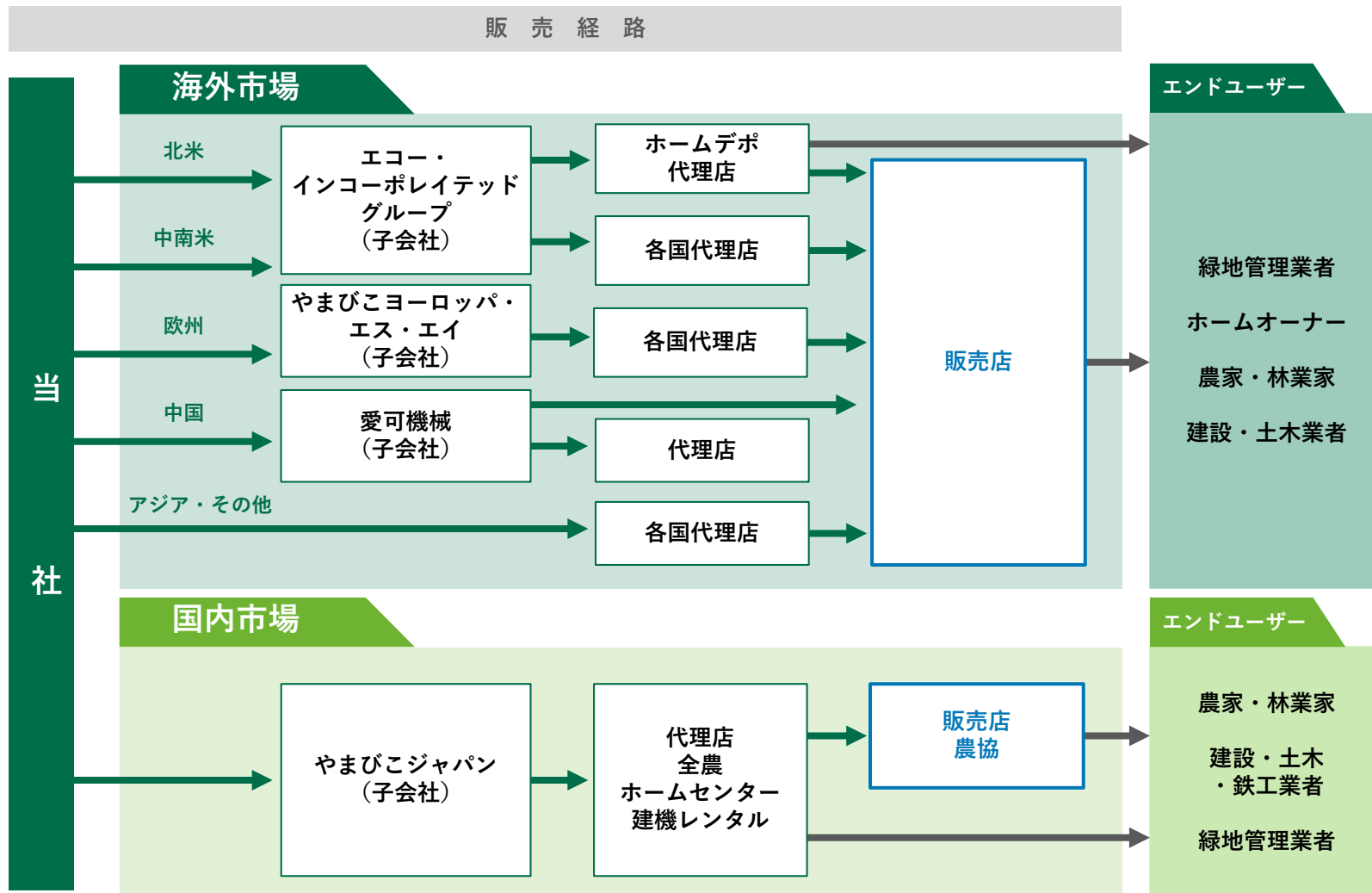
- 追浜工業株式会社 (横須賀市) : 電装部品
- 双伸工業株式会社 (青梅市) : 樹脂部品
- 株式会社ニューテック (長野市) : 鋳造部品
- やまびこエンジニアリング株式会社 (安芸高田市) : 板金加工



海外生産体制



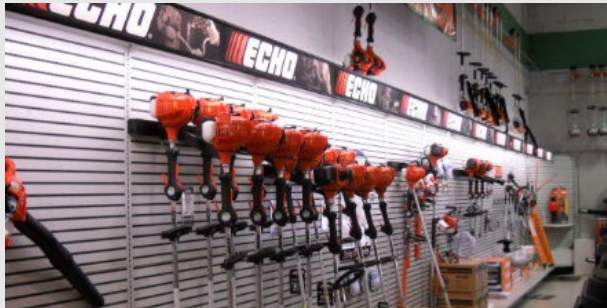
主な販売経路



海外市場での販売とユーザー

販売店

ホームセンター、農機具店、ハードウェアストア、販売代理店など



- 海外における販売店ではプロユーザーを意識した高付加価値製品群を取りそろえて対面販売
- ホームセンターにおいてはハイエンドホームユーザー向けに品揃え

エンドユーザー



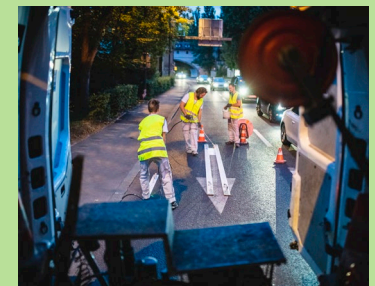
緑地管理業者



ホームオーナー



農家・林業者



建設・土木業者

日本市場での販売とユーザー

販売店

農協、農機具店、建機レンタル会社、
ホームセンターなど



- プロユーザー向けには販売店や代理店と協力しながら展示会を実施し、実演や試乗を通じて販売
- 建設向けは、金物店や建機レンタル会社を通じて、個人ユーザーにはチェーン展開するホームセンターなどで販売

エンドユーザー



緑地管理業者



建設・土木・
鉄工業者



農家・林業家

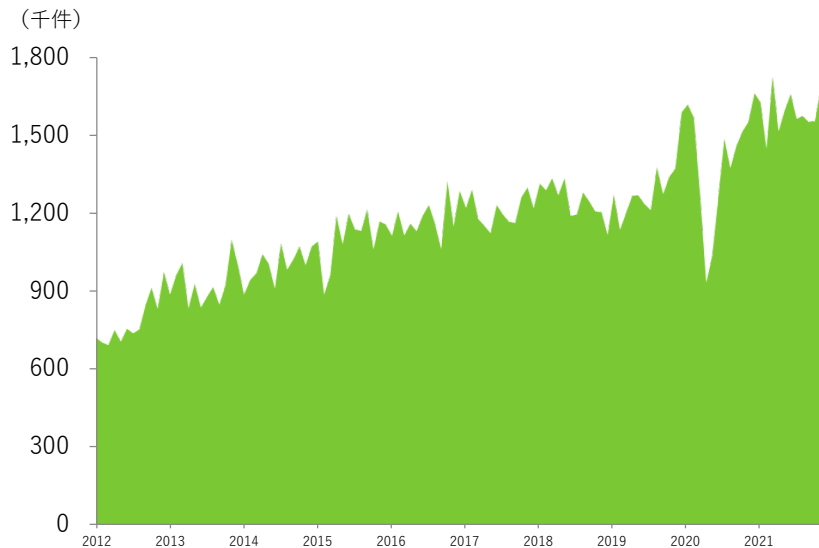
主なグループ会社の状況

	海外	小型屋外作業機械 (OPE)	農業用管理機械	一般産業用機械
生産販売		エコー・インコーポレイテッド やまびこヨーロッパ・エス・エイ 愛可機械	クレイリー・インダストリーズ	エコー・インコーポレイテッド
生産		クイック・プロダクツ・インク 新大華機械		やまびこベトナム
販売		ゴールデンイーグル ディストリビューティング		
	国内			
販売		やまびこジャパン		
生産		追浜工業 双伸工業		やまびこエンジニアリング

海外市場における関連指標等

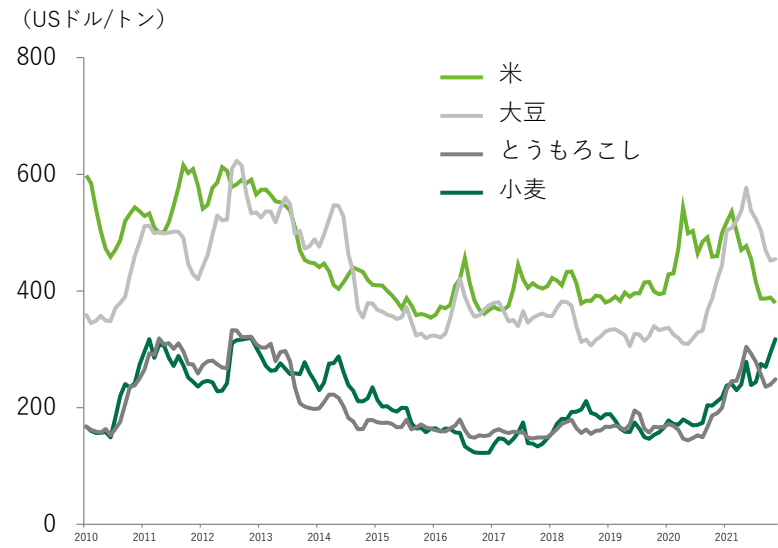
事業	関連指標等
小型屋外作業機械 (OPE)	北米：住宅着工件数 等 南米：穀物価格 (大豆、とうもろこし、コーヒー) 等
農業用管理機械	米国：穀物価格 (大豆、とうもろこし) 等

米国住宅着工件数 (季節調整済年率換算値)



U.S.Census Bureau: New Residential Construction

穀物価格

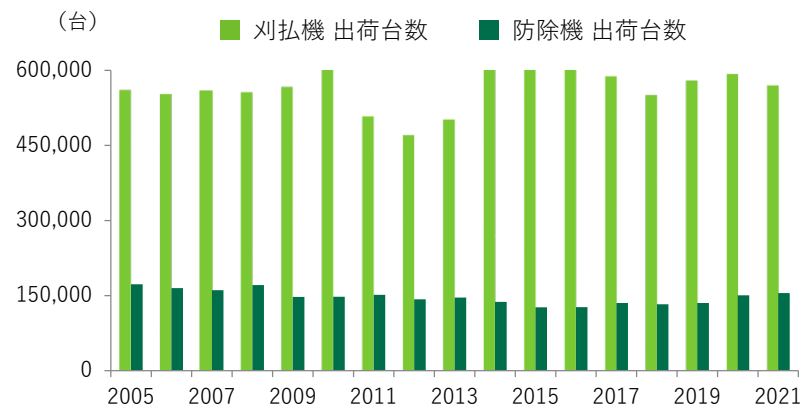


IMF - Primary Commodity Prices

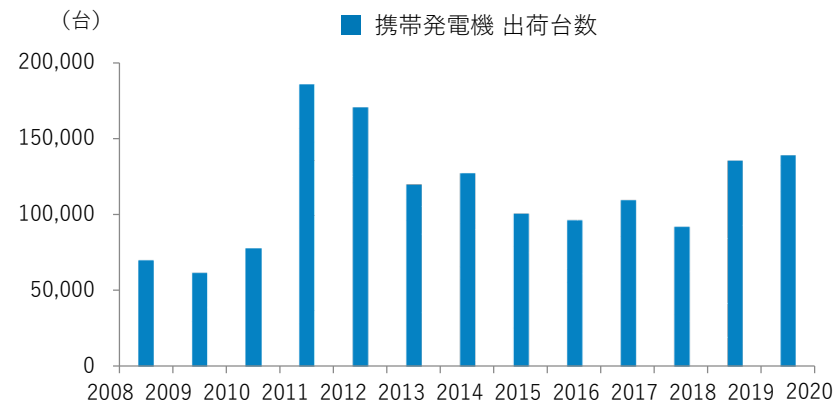
国内市場における関連指標等

事業	関連指標等
小型屋外作業機械（OPE）	（一社）日本農業機械工業会出荷実績（刈払機）、米価 等
農業用管理機械	（一社）日本農業機械工業会出荷実績（防除機）、米価 等
一般産業用機械	（一社）日本陸用内燃機関協会（携帯発電機）、 （一社）日本建設機械工業会出荷金額統計（その他建設機械）、 建設関連業等の動態調査報告、工作機械受注高 等

出荷実績



注：会員企業の入退会に伴い、2014年4月より報告会社数が変更。
 （防除機：7社→6社、刈払機：11社→12社）
 （一社）日本農業機械工業会出荷実績



（一社）日本陸用内燃機関協会携帯発電機研究会集計（3kVA以下）

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

お問い合わせ先

株式会社 やまびこ 経営企画室

〒198-8760 東京都青梅市末広町1-7-2

e-mail : ir6250@yamabiko-corp.co.jp